科目ナンバリング	U-LAS02 10013 LJ37						
授業科目名<英訳>	言学Ⅰ The Science of Language Aspect of the Japanese Language I			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　佐野　宏		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

日本語学研究について基礎的な知識を習得することを目的とする。日本語学研究の問題について日本文学に関連することも含めて幅広く触れる。

[到達目標]

日本語学の基礎的な事項や用語について、歴史的な関連事項と合わせて説明できることを目標とする。

[授業計画と内容]

1　日本語研究について（表現の成立と言語場、文法の位置）
2　音声の構造①
3　音声の構造②
4　音声の構造③
5　アクセント①現代語
6　アクセント②古代語
7　日本語音韻史概説：上代特殊仮名遣い
8　日本語音韻史概説：ハ行転呼音など
9　日本語表記史概説：「万葉仮名」
10　日本語表記史概説：「仮名」付：絵文字など
11　日本語文法史概説：上代から中世
12　日本語文法史概説：近世から近代
13　日本語文体史概説
14　まとめ・確認試験
15　フィードバック

講義の順序は原則として上記の通りであるが、受講生の理解度にあわせて順序・内容を入れ換える他、一部を省略することがある。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

講義期間の最終日に基礎的な事項の確認試験を行う（60%）。時折、講義中に小テストを行うほか、授業への積極的な参加度（40%）を総合的に加味して評価する。

言学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

言学Ⅰ(2)

[教科書]

山梨正明 他 『改訂版　日本語要説』（ひつじ書房）ISBN:978-4-89476-468-2

[参考書等]

（参考書）
小出祥子 編 『大限界』（三省堂）ISBN:978-4-385-36623-4（現代語の語形成と語彙のあり方を考える資料として使います）

[授業外学修（予習・復習）等]

講義中に次回は「●●」について説明する旨を伝えるので、テキストを指示した場合は該当箇所、あるいは事前の配布プリントを熟読し、必要な参考文献を一読しておくことが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

木曜日４限をオフィスアワーとする。会議等で不在の場合があるので、必ず事前に確認をすること。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部